

子どもたちが
まちのみんなが
もっと三宅を好きになる

三宅町複合施設の運営方針

令和2年3月31日
三宅町

1. 背景と目標

三宅町では、このまま人口が減ると、約7000人の人口は、2040年には5000人を切り、0～19歳までの子どもの数は、約1,200人（2010年）から600人*くらいまで半減すると言われています。

三宅町の強みを生かし、まちの未来を育むことが求められています。

三宅町にはまちを支えるたくさんの「ひと」と、
使われなくなっている・活かしきれていない「もの」があります。
また、幼稚園も小学校も一つで、中学校も一緒。小さなころから社会人の一步手前になるまで、
町全体として一つの流れでよい環境を整えるのに適しています。

それら三宅の資産を活かし、複合施設を中心に、
まちのみんなができること、やりたいことをアクションとして積み重ねることで、
未来に向けて「まちがよくなった」と実感できる、
子どもたちが元気に暮らし、まち全体が生き生きするような、
三宅町の未来を育むまちの拠点をめざします。

**子どもたちが、まちのみんなが、もっと三宅を好きになるために。
三宅にあるものを活かし、三宅になかった新たな魅力を生み、三宅の未来を育む。**

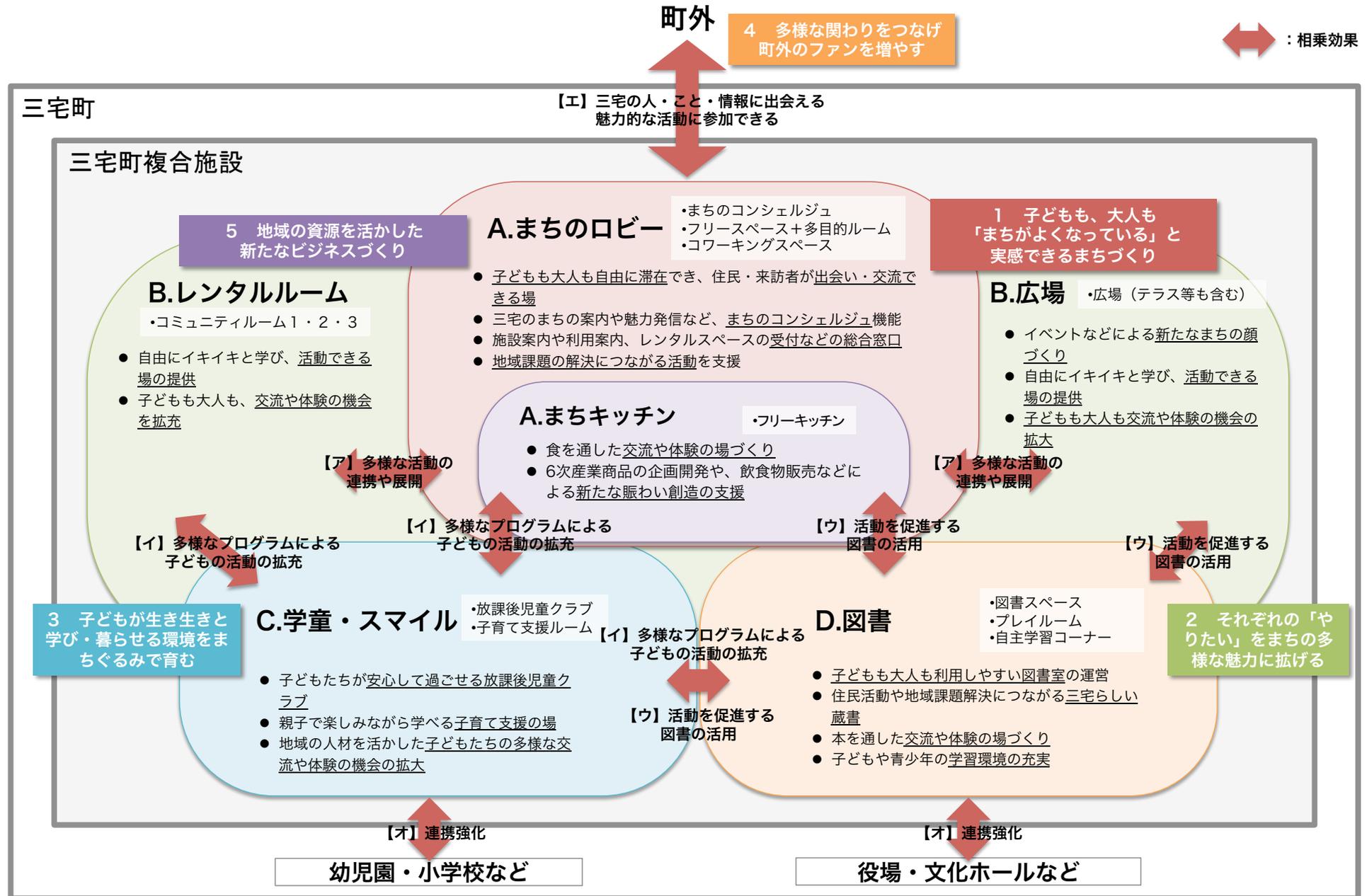
2. 5つの目的

■三宅町複合施設は、以下の5つの目的を定め、子どもも大人も自分ごととして関わり、まちのみんなができること・やりたいことを積み重ねながら、三宅町の未来を育むまちの拠点として運営していきます。



3. 運営方針

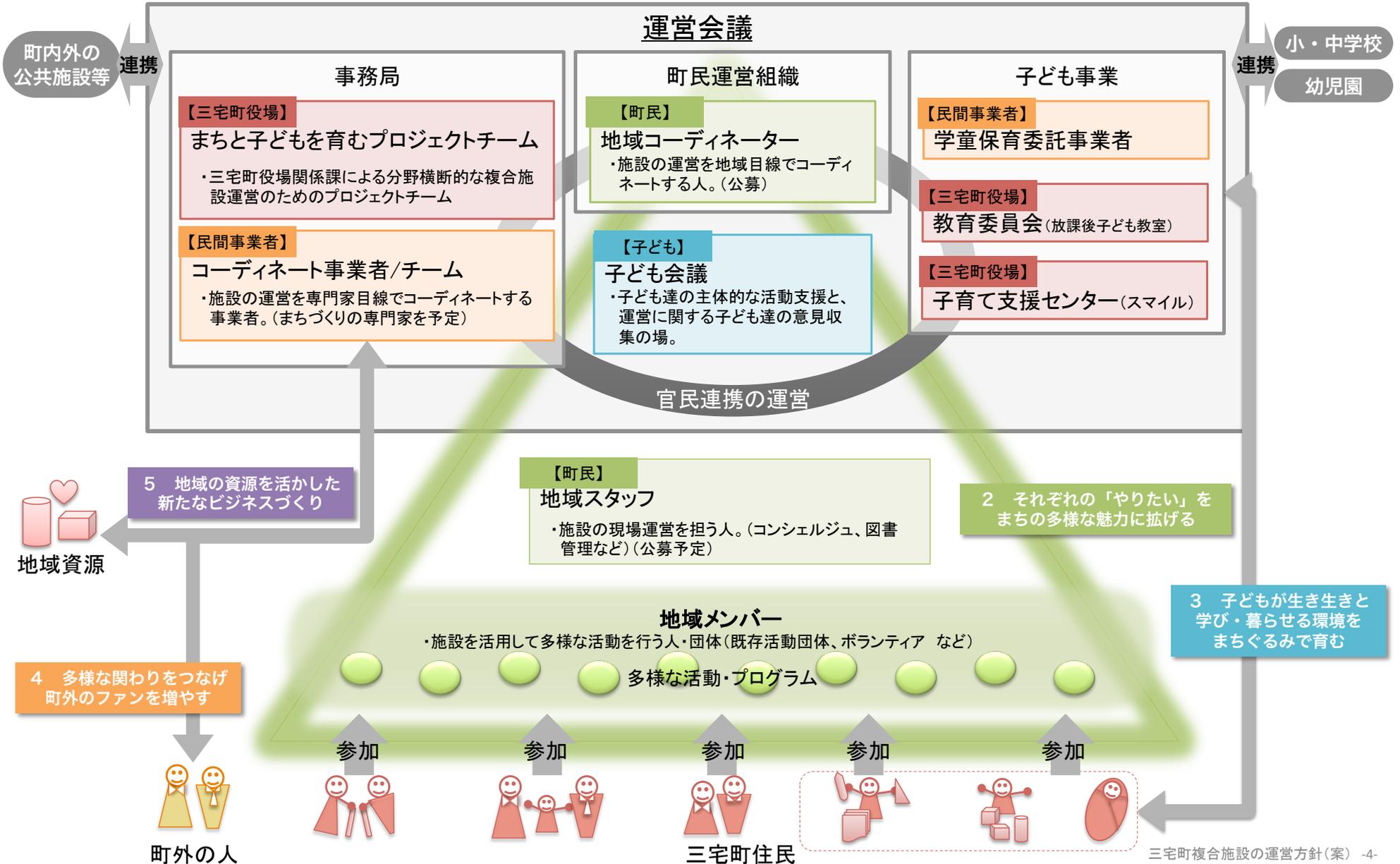
■三宅町複合施設は、公民館機能、学童・子育て支援機能、図書機能などA～Dの多様な機能を1つに集め相互に連携しながら、一体的に運営する事で、活動の連携や新たな展開などア～オの相乗効果を生み、子どもも大人も関わる拠点としていきます。



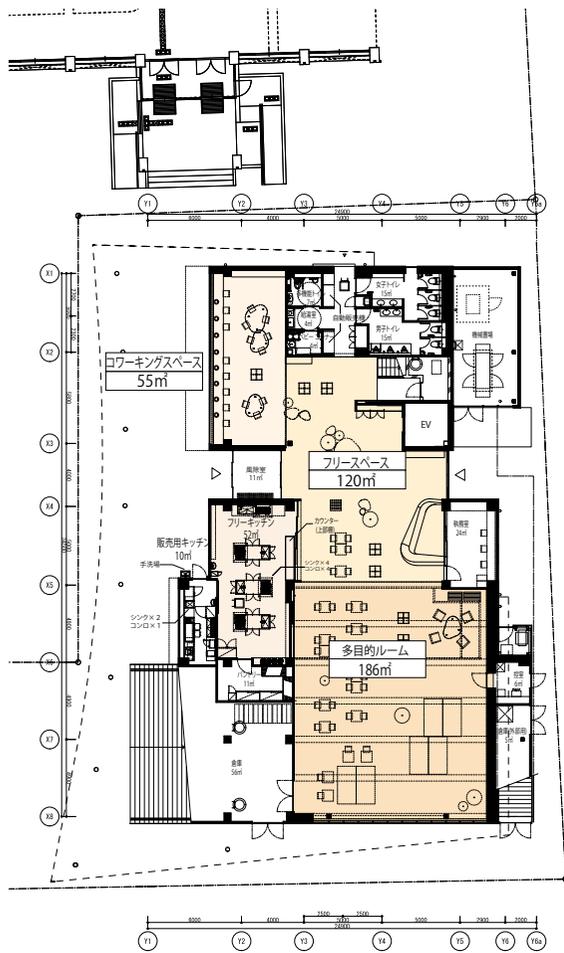
4. 実施体制（オープン時）

■三宅町複合施設をどう運営して行くかを検討する運営会議を設け、役場・子どもも含めた町民・専門家が一緒に議論しながら運営を行います。町民は一参加者から運営への参画まで多様な立場で子どもも大人も関われる体制をつくります。

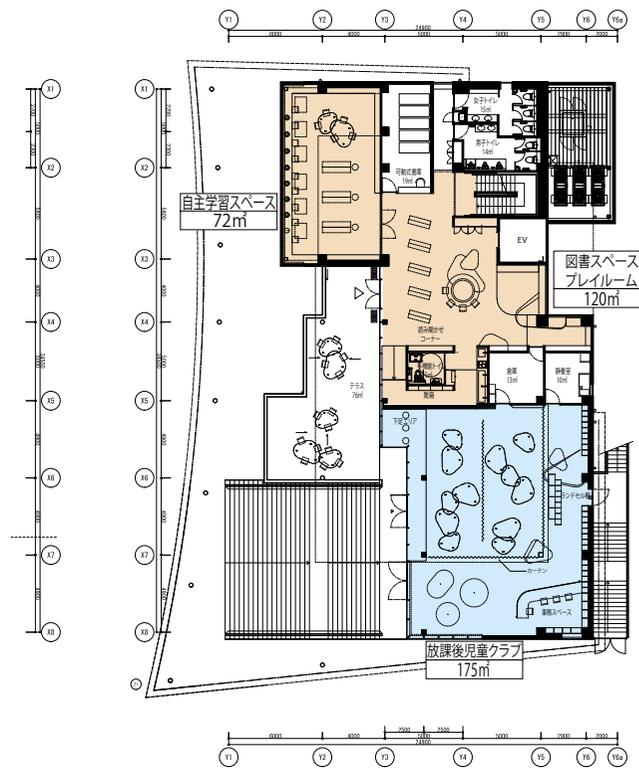
1 子どもも、大人も
「まちがよくなっている」と実感できるまちづくり



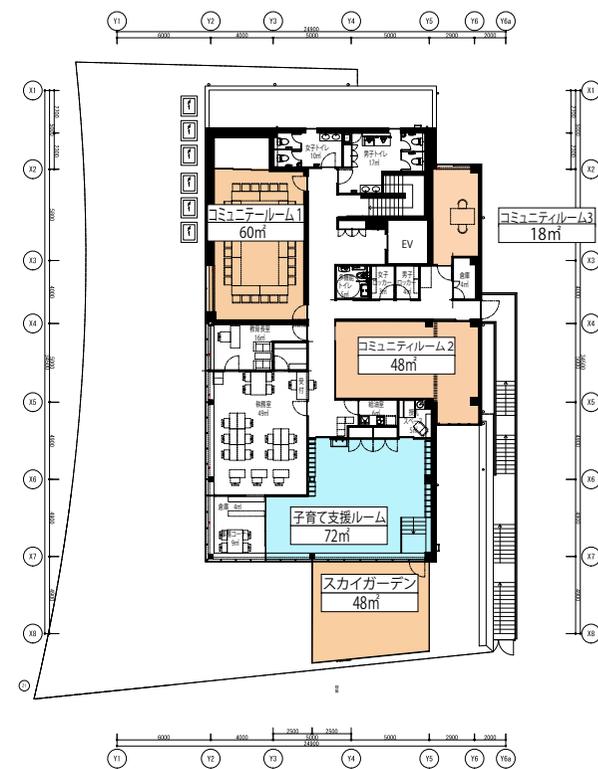
参考. 複合施設の平面図



1階



2階



3階